



第6回 「宇都宮 江戸時代 歩き地図」講演会

～地形、水系から見た城下町 宇都宮の成り立ち～

講師 **大塚 雅之** 先生

講演の概要

江戸時代の下野庵宮住(宇都宮鉄炮町の町名主 上野基房)は、「池邊は宇都宮の古い名で、池上町はそのなごりである。宇都宮は二荒神社のことで、昔の地名は池邊郷である。」と言っています。宇都宮の街割りを細やかに見ていくと、河川や沼沢など地形が、城下町の形成に大きく関係していることが分かります。
「宇都宮江戸時代歩き地図」を見ながら一緒に調べてみましょう。

日時 **9月18日** 水 午後2時～4時

会場 栃木県総合文化センター サブホール (宇都宮市本町1-8)

参加料 **無料** (定員150人先着) 締切 **8月28日** 水

申込み

電話またはFAX, メールで住所・氏名(団体名), 電話番号を明記のうえ
宇都宮まちづくり推進機構 TEL **632-8215** fax **637-8383**
eメール **u_kikoh@ucatv.ne.jp** へ申し込みください。

※一般来館者用駐車場はございません。公共交通機関のご利用にご協力ください。



主催：宇都宮まちづくり推進機構(宮再発見専門委員会)